

取扱説明書

NEBAスリング

この度は、「NEBAスリング」をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品の機能を活かし、尚且つ安全に快適にご使用いただく為にご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただきご理解ください。また、お読みになられた後も、大切に保管し必要に応じて繰り返しお読みください。

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などにより予告なく変更する場合がございます。必ずご購入された製品に梱包されている取扱説明書でご確認いただきますようお願いいたします。

目次

1.ご使用上の注意	P2~3
2.各部分の名称	P4
3.使用方法	
頭部サポートあり(4点吊・6点吊)の使用方法	P5~10
頭部サポートなしの使用方法	P11~15
シートタイプの使用方法	P16~17
2本ベルトタイプの使用方法	P18
トイレ用の使用方法	P19~20
4.お手入れ方法	P21
5.廃棄方法	P21
6.保証書	P22

頭部サポートあり			
品番	サイズ	生地	仕様
26170031	中	標準	4点吊
26170032	骨盤幅狭	標準	4点吊
26170033	大	標準	6点吊
26170034	中	標準	6点吊
26170035	小	標準	6点吊
26170036	極小	標準	6点吊
26170037	大	メッシュ	6点吊
26170038	中	メッシュ	6点吊
26170039	小	メッシュ	6点吊

頭部サポートなし		
品番	サイズ	生地
26170025	大	標準
26170026	中	標準
26170027	小	標準
26170028	大	メッシュ
26170029	中	メッシュ
26170030	小	メッシュ

シートタイプ			
品番	サイズ	生地	仕様
26170041	フリー	メッシュ	頭部サポートあり
26170040	フリー	メッシュ	頭部サポートなし

トイレ用(バックルタイプ)		
品番	サイズ	生地
26170042	フリー	標準

2本ベルトタイプ		
品番	サイズ	生地
26170043	フリー	ボア

材質: ●標準タイプシート/強化ナイロン
●メッシュタイプシート/ポリエステル
●ストラップ、縁取り、補強部、補助テープ、ボア部/ポリエステル
●2本ベルトタイプ中芯/ポリ塩化ビニール

耐荷重: 140kg

製造国: デンマーク

1. ご使用上の注意

本製品の機能を十分に生かしかつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。その後大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



対象者の身体状況によっては、リフトの使用により症状が悪化する恐れがあります。リフトの導入、スリングの選択に際しては、医師やPT（理学療法士）、OT（作業療法士）等に、ご相談ください。



使用後、対象者の体に異変があった時は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。



使用前、使用後の点検は、必ず行ってください。

スリングシートは消耗品です。特にストラップ部分には荷重が集中します。使用前後には、ストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどが無いかどうか、必ず点検するようにしてください。異常を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。



本製品の耐荷重は140kgとなっております。体重が140kgを超える方は、ご使用になれません。ただし、リフトの安全耐荷重が140kg以下の場合、リフトの耐荷重を限度としてください。

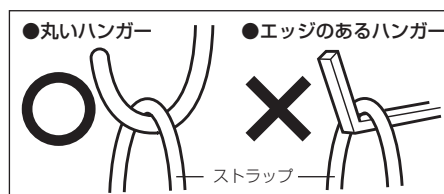


身体に合ったサイズとタイプのスリングをお選びください。

大きすぎるスリングを使用すると、落下の危険性があります。また小さすぎると過度の圧迫を受ける恐れがあります。体に合ったスリングのサイズとタイプをお選びください。



リフトのフックにエッジがある場合は、使用できません。リフトのフックにエッジがあるとストラップの擦り切れや破損の原因となり、落下事故につながります。また鋭利な金属片や尖ったものでこすったり、引っかけると破損します。万一破れた場合は、直ちに使用を中止してください。



リフトの有効フック間距離が410～520mmのリフトでご使用ください。



吊り上げ時にスリングが、車椅子や固定物に引っかかっていないかを確認して操作してください。車椅子や固定物に引っかけて吊り上げるとスリングや、リフトを破損する恐れがあります。



リフトのフックに、ストラップが掛かっていることを確認したうえで、吊り上げてください。ストラップが張ったところで一度止め、ストラップが掛かっていることを再度確認してください。



リフトのフックからスリングのストラップを外す際は、対象者が車椅子、ベッド上等にしっかりと着地して、スリングに体重がかかっていないことを確認してください。



改造しないでください。

改造により使用中にスリングが破れて落下する可能性がありますので、絶対に改造しないでください。



製品タグのある面を外側に向けて取り付けてください。

スリングの設置方向が反対になると縫製箇所へ負担がかかり、スリングが壊れて落下する可能性があります。



頭部サポートあり（4点吊）をご使用の方は、ご使用時に必ずステーを装着してください。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的破損の発生が想定される内容を示しています。



作業は、対象者に声をかけながら行なってください。急な動きや予測していない動きがあると対象者が不安を感じる事があります。また吊り上げる際は、痛みがないかなど、確認しながら行ってください。特に初めての方は、吊り上げた時に身体が揺れると不安を感じる事があります。



スリングのストラップをリフトのフックにかける作業を行なう時には、リフトのハンガー及びフック部が対象者にあたらないようにしてください。



必要以上に高く吊り上げないようにしてください。



対象者を長時間リフトに吊った状態にすると身体の負担となりますので避けてください。

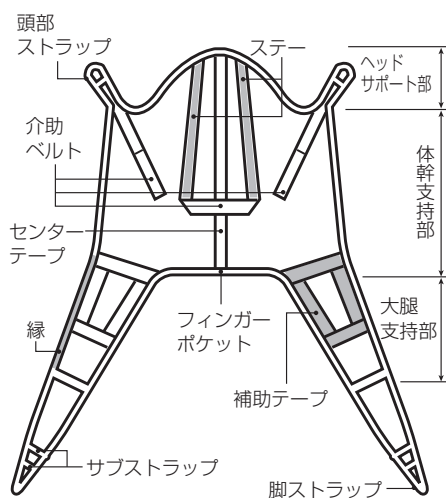


リフトを対象者に近づけたり、遠ざけたりする際は、対象者に当たらないように気を付けてください。特にリフトのハンガーを近づけてくる時は、対象者の顔のところから近づけないでください。

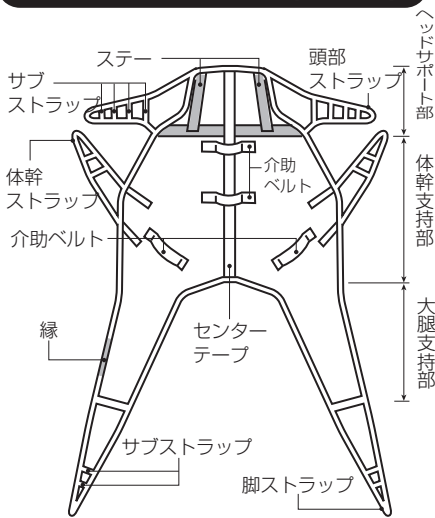
※リフトの取り扱いについてはリフトの取扱説明書をご覧ください。

2. 各部分の名称

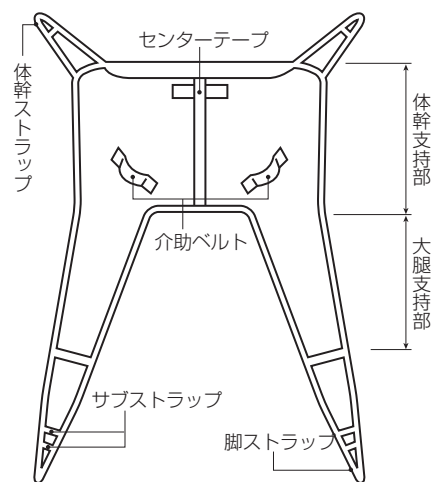
頭部サポートあり(4点吊)



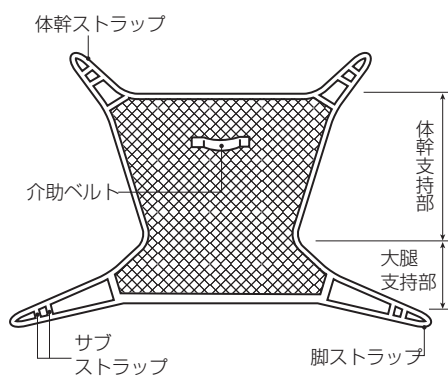
頭部サポートあり(6点吊)



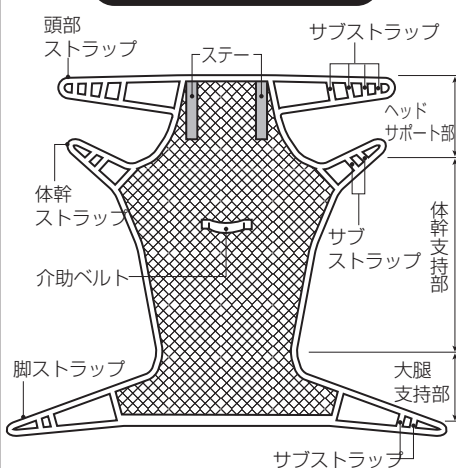
頭部サポートなし



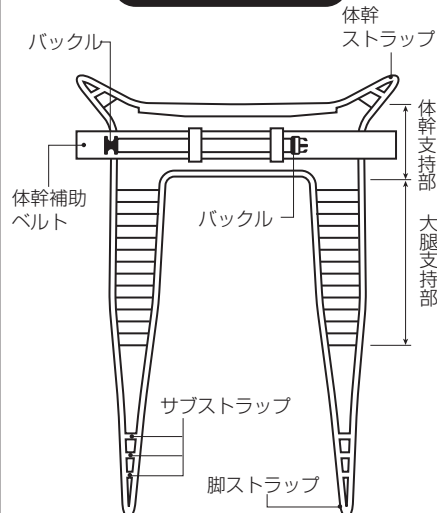
シートタイプ 頭部サポートなし



シートタイプ 頭部サポートあり

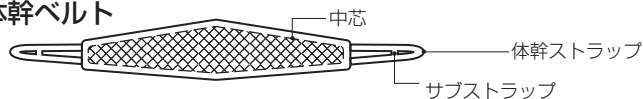


トイレ用

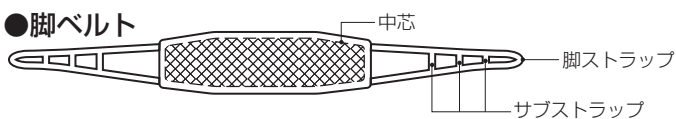


2本ベルト

●体幹ベルト



●脚ベルト

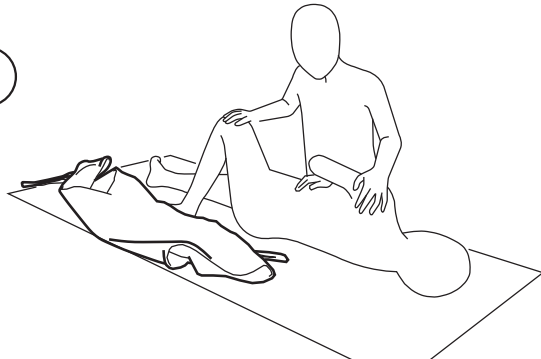


3. 使用方法

● 頭部サポートあり（4点吊・6点吊）の使用方法

ベッド上でのかけ方

①

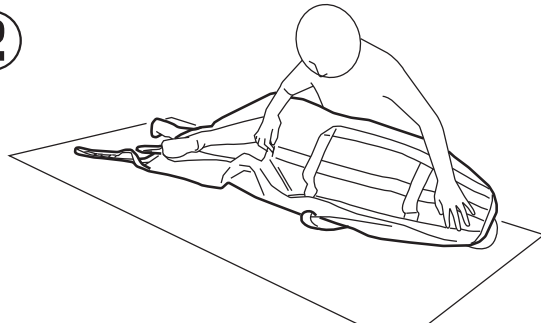


注意

対象者を仰臥位に戻すまで、介助者の身体や上肢等で支えながら作業を行なってください。支えていないと対象者が倒れてケガをする恐れがあります。

スリングを外側（介助用ベルトがついている側）が内側になるように二つ折りにして、対象者の横に準備します。
対象者を介助者側へ、寝返らせて少し深めの側臥位にします。

②



警告

尾骨の先端のところまで深く被われていないと、吊り上げたときに、圧迫や落下の原因になります。

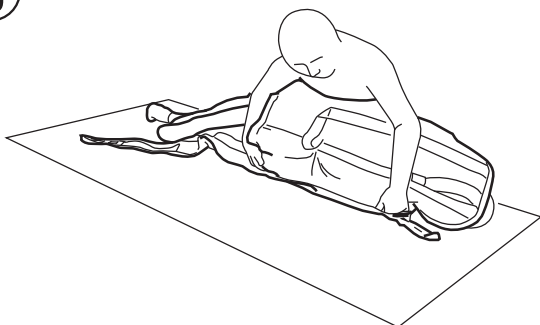


注意

スリングの中央と対象者の脊柱の位置がずれていると吊り上げたときに、身体が傾きます。

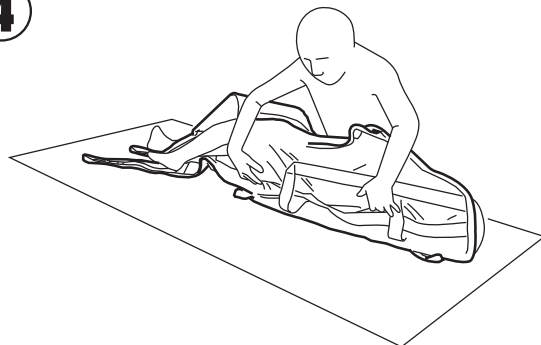
スリングを身体にかけて、スリングの下端中央と尾骨先端の位置を合わせ、片手で押さえます。次に、脊柱とスリングのセンターテープを一致させます。

③



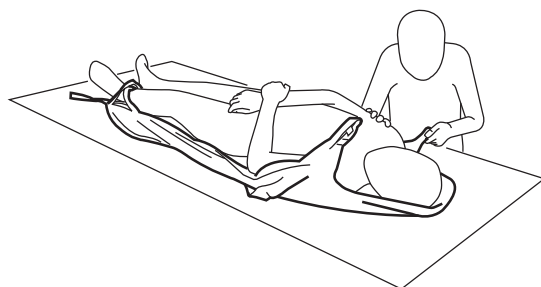
残りのスリングを図のように折りたたみ、ストラップをスリングの内側に入れて、対象者の身体の下に入れます。

④



脊柱とスリングの中央の位置がずれないように、介助者はスリングのセンターテープ上に手を添えて、対象者をゆっくりと仰臥位に戻します。

⑤

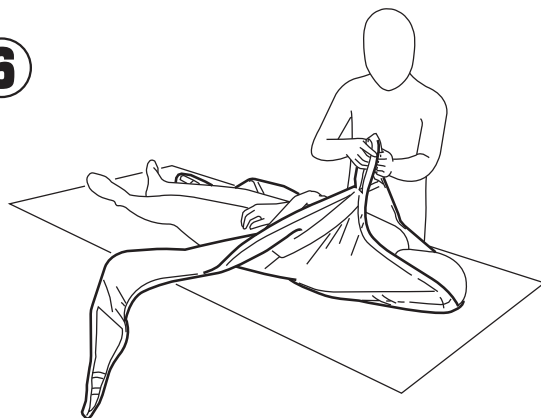


折り込んだスリングは、身体の下からスリングの滑りを利用して、引き出します。

（スリングが引き出しにくい場合）

スリングの上部は、肩甲骨部を少し浮かせて引き出します。スリング下部は、膝を立てると、対象者の臀部が、少し浮き引き出し易くなります。

⑥

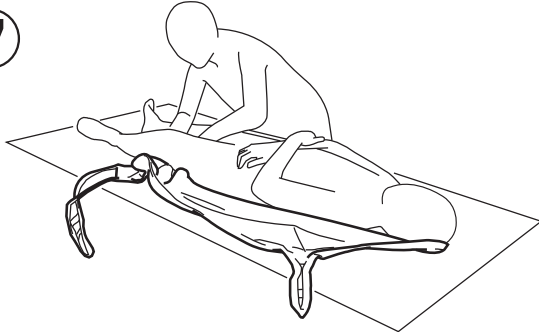


注意

スリングの中央と対象者の脊柱の位置がずれていると吊り上げたときに、身体が傾きます。

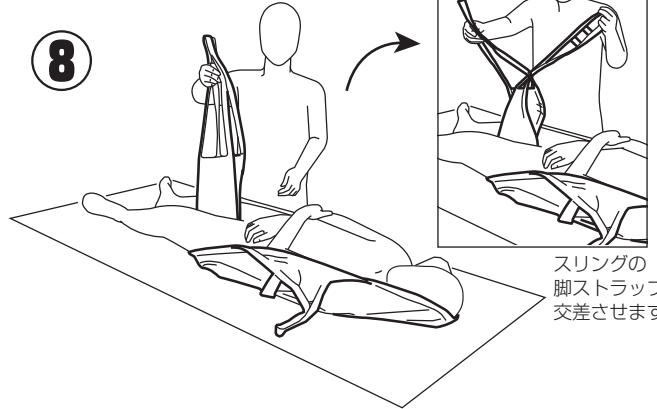
頭部側のストラップの左右の長さを合わせて、身体がスリングの中央にあることを確認します。
ずれている場合は、位置修正します。

7



スリング大腿支持部を、ベッドを下方に押すようにして、手を大腿部の下に挿入し、スリングの滑りを利用して両脚の間から引き出します。反対側も同様にします。

8



スリングの脚ストラップを交差させます。

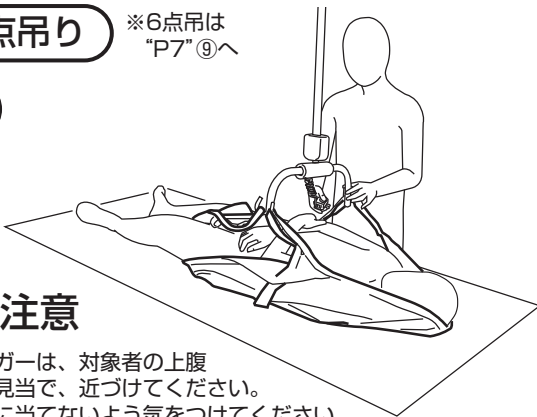
注意 スリング脚部の長さが左右違うと吊り上げたときに身体が傾きます。

スリングの長さが左右同じになっている事を確認します。

4点吊り

※6点吊は
"P7"⑨へ

9

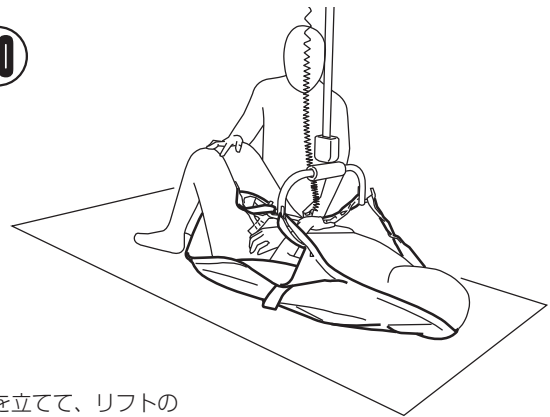


注意

- ・ハンガーは、対象者の上腹部の見当で、近づけてください。顔面に当てないよう気をつけてください。
- ・ストラップは、必ずねじれないようにかけてください。

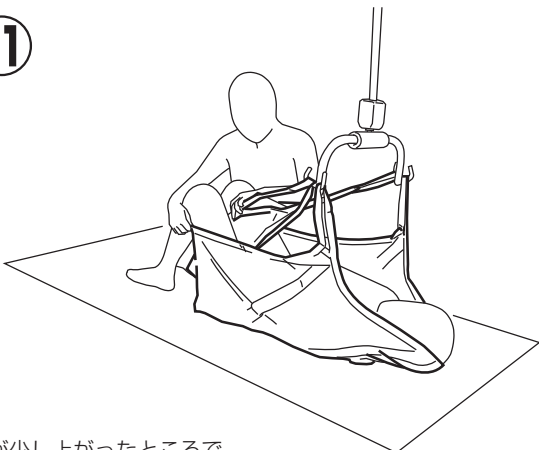
リフトのハンガーを近づけて、頭部ストラップ、脚ストラップをリフトのフックにかけます。

10



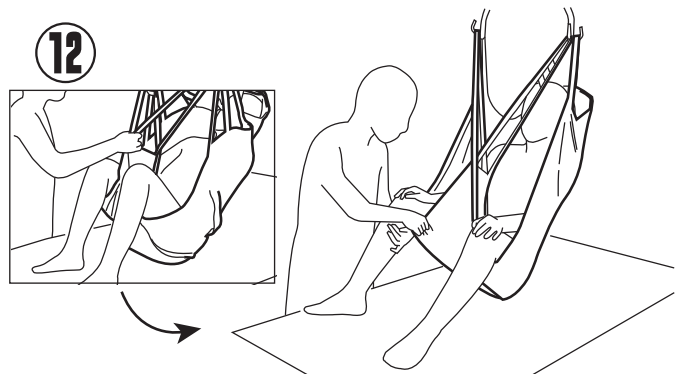
両膝を立てて、リフトのフックにストラップがしっかりとかかっていることを確認し、膝が倒れないように支えながら吊り上げていきます。

11



頭が少し上がったところで、一度止めて、大腿部にしわが寄っていないか確認します。

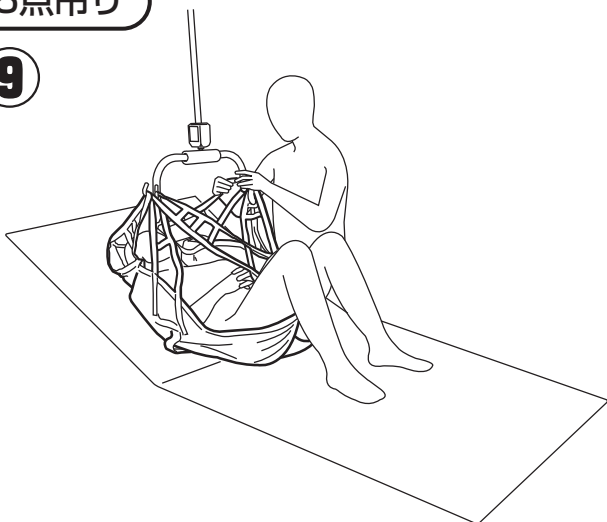
12



ストラップが、しっかりとかかっていることを確認して、吊り上げていきます。股間への食い込みを防止する為、脚ストラップを軽く対象者の足の方へ引いておきます。臀部が完全に離床する直前で、一旦止めて、大腿部を軽くスリングから浮かせて、スリング脚部を膝方向に引き出し大腿支持部のかかり位置や、しわを修正します。

6点吊り

9

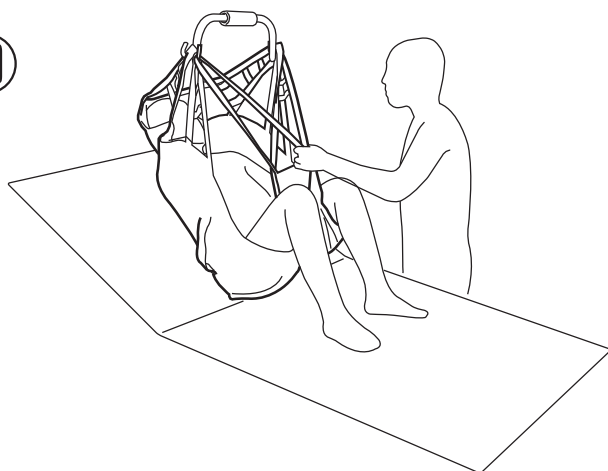


注意

- ・ハンガーは、対象者の上腹部の見当で、近づけてください。
- ・顔に当たらないように、気をつけてください。
- ・ストラップは、必ずねじれないように、かけてください。

- (1) 対象者の両膝を立てて、20度から30度程度ベッドの背を上げます。
(対象者がスリング上を前方に滑らないために、背上げの角度を上げ過ぎないでください。)
 - (2) リフトのハンガーを近づけて、各ストラップをリフトのフックにかけます。
 - a. フックが左右2本ずつの場合、対象者の頭側フックに体幹ストラップ、頭部ストラップの順にかけ、対象者の足側フックに脚ストラップをかけます。
 - b. フックが左右に1本ずつの場合は、体幹ストラップ、脚ストラップ、頭部ストラップの順にかけます。
- (※) 頭部ストラップは、長さの調整をする場合がありますので、ストラップを、かける順番を間違えないでください。

10

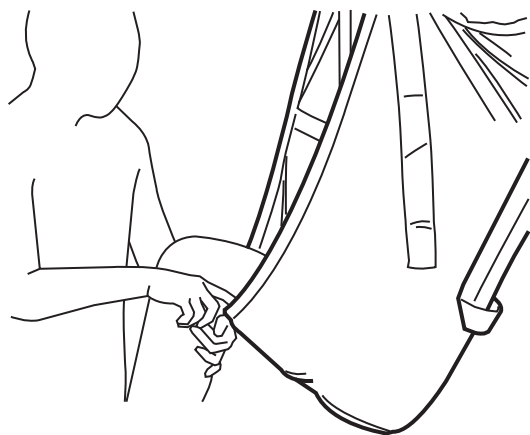


ストラップが、しっかりかかっていることを確認して、吊り上げていきます。

股間への食い込みを防止する為、脚ストラップを軽く対象者の足方向へ引いておきます。

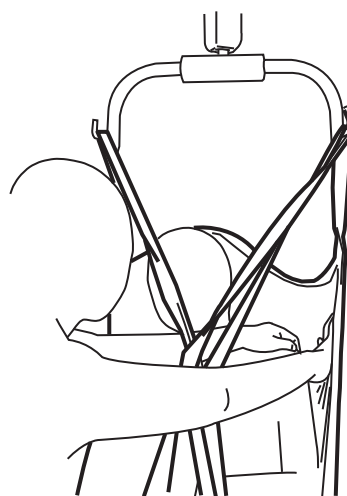
臀部が完全に離床する直前で、一旦止めて、大腿部を軽くスリングから浮かせてスリング脚部を膝方向に引き出し、大腿支持部のかかり位置や、しわを修正します。

参考



大腿部の縁による圧迫を取る。

介助者は、片手で対象者の下腿部を支えて、反対側の手の人差し指を大腿部とスリングの間に挿入して、そのままスリングの縁に沿って滑らせ部分的な圧迫を取り除きます。
反対側も同様にします。



注意

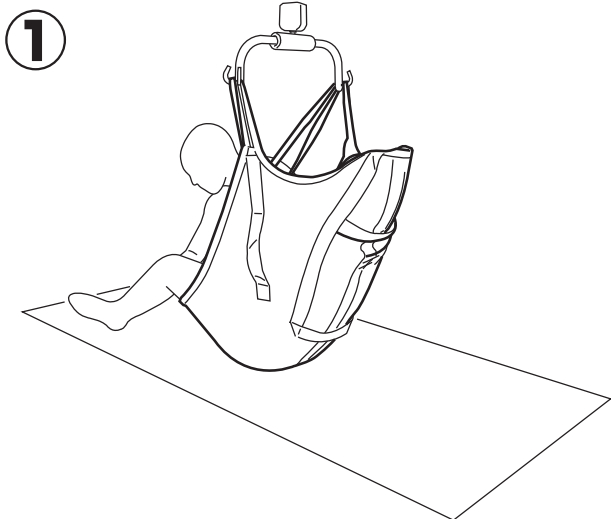
上肢は引っ張らないでください。

肩の圧迫を取る。

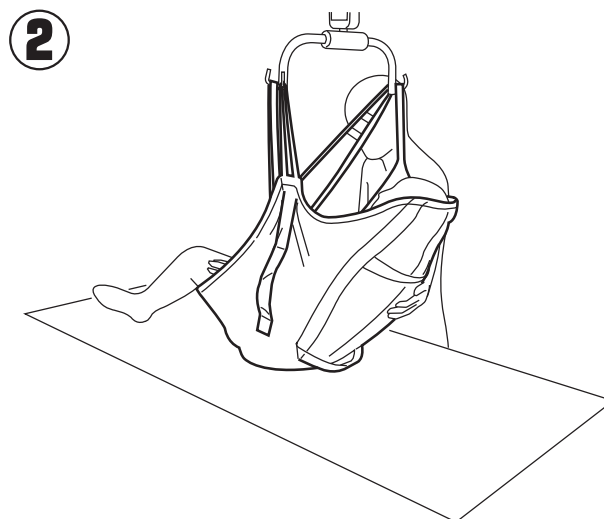
片手で対象者の肩を支え、もう片方の手でスリングを軽く後方に押しします。反対側も同様にします。

ベッド上への降ろし方

4点吊り

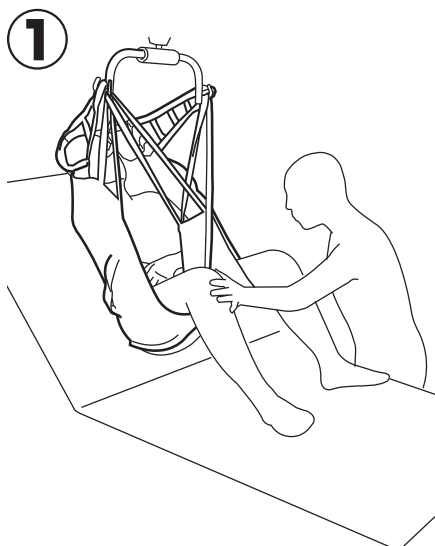


対象者の臀部を適切な位置に降ろします。
臀部がマットレスに軽く接触したら、一度止めて、下肢を軽く伸ばし、踵を適切な位置におきます。
必要に応じて、この時点で、臀部の位置修正をします。

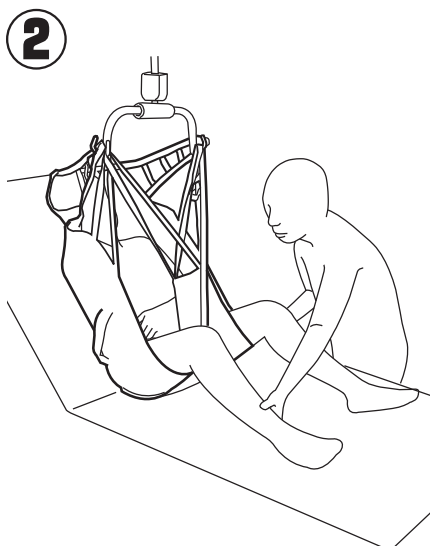


介助者は、対象者の身体の揺れを防ぐように支えながら、ベッドの中央部に降りるように、誘導します。

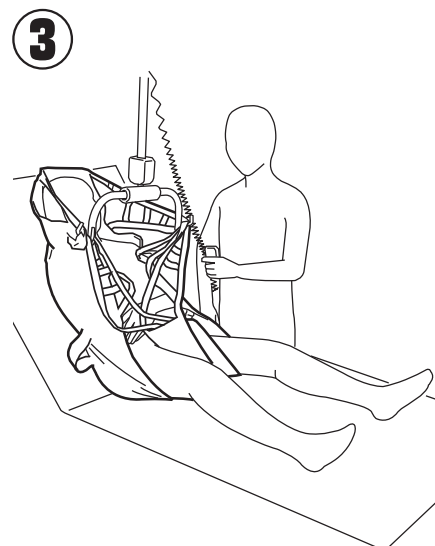
6点吊り



ベッドの背を、懸吊姿勢と同じ角度に上げ、着座する位置まで、リフトを操作して、対象者の臀部を、誘導します。ベッドの背上げの屈曲部よりも少しベッドの頭側の高い位置に、臀部を接触させてマットレス面に沿わせるように降ろします。



臀部がマットレスの着座位置に接触したら、一度止めて、下肢を伸ばします。
必要に応じて、この時点で臀部の位置修正をします。



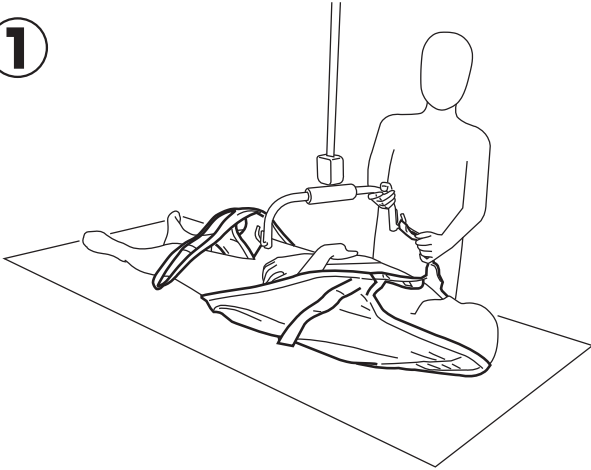
そのまま着床します。

ベッド上での外し方

4点吊り

※6点吊は“P10”へ

①



警告

対象者がしっかりと着地し、スリングに体重がかかっていないことを確認してから、ストラップをはずしてください。

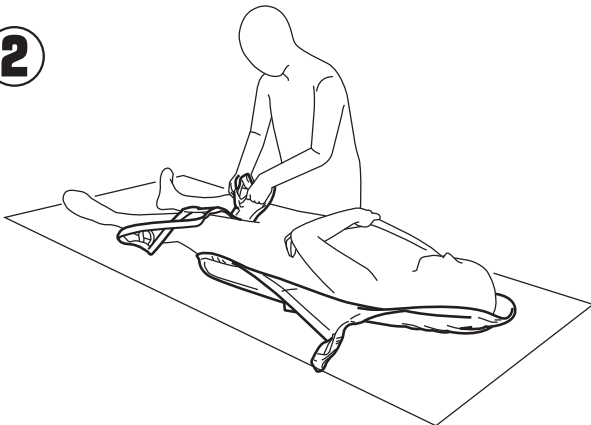


注意

- ・ストラップをはずす時に、対象者にハンガーを当てないようにしてください。
- ・ハンガーを遠ざける時に、対象者に当てないようにしてください。

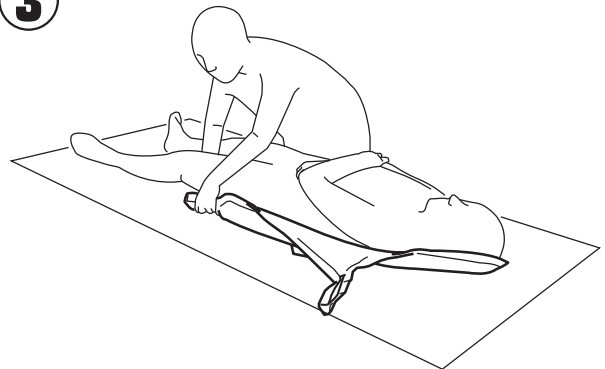
ストラップをフックから全てはずし、ハンガーを遠ざけます。

②



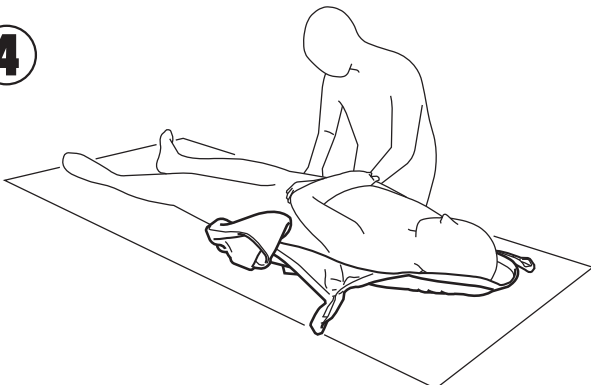
脚部の交差をほどき、図のように、ストラップをまとめて、スリング大腿支持部を反転して巻き、ベッドを下方に押すようにして、大腿部の下に入れます。反対側の手でスリングを引きだします。

③



反対側も同様に行います。

④



介助者側のスリングを、対象者の身体の下にベッドを下方に押すようにして入れます。

⑤



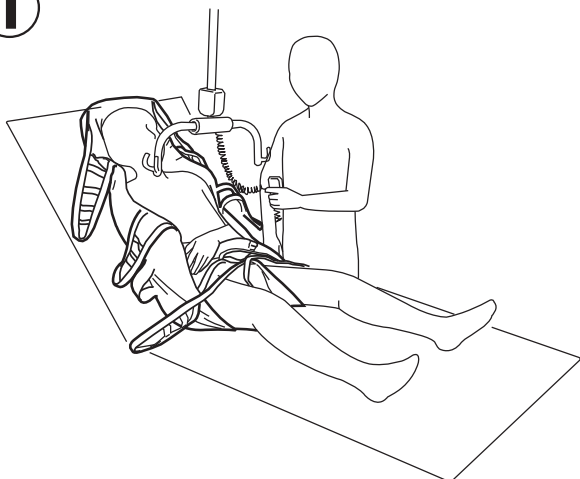
注意

対象者を側臥位から仰臥位に戻すまで、介助者の身体や上肢等で支えるようにしながら作業を行なってください。支えていないと対象者が倒れてケガをする恐れがあります。

対象者を介助者側へ、寝返らせて側臥位にして、スリングを抜き取ります。対象者を仰臥位に戻します。

6点吊り

①



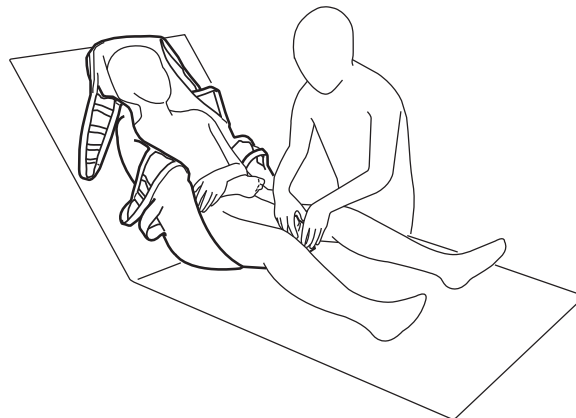
警告 対象者がしっかりと着地し、スリングに体重がかかっていないことを確認してから、ストラップをはずしてください。

注意

- ・ストラップをはずす時に、対象者にハンガーを当てないようにしてください。
- ・ハンガーを遠ざける時に、対象者に当たらないようにしてください。

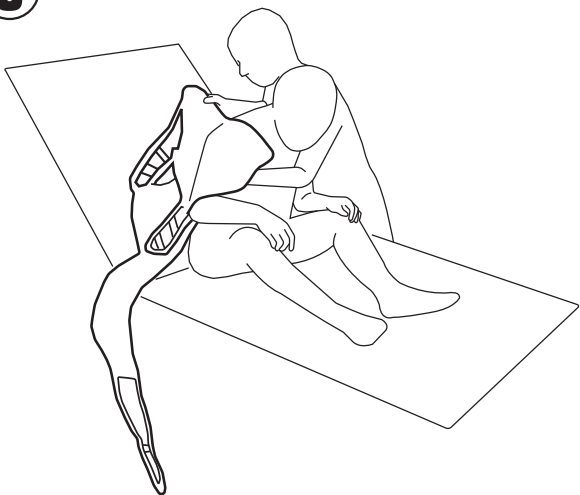
ストラップをフックからすべてはずし、ハンガーを遠ざけます。

②



脚部の交差をほどき、図のように、スリングのストラップをまとめ、大腿支持部を反転して巻き、ベッドを下方に押すように、大腿部の下に入れます。反対側の手でスリングを引き出します。反対側も同様に行います。

③



注意 対象者を前傾させる時には、倒れないように支えてください。

対象者を前傾させて、背中からスリングを抜き取ります。ベッドの背上げを戻します。

ベッドを水平に戻し、側臥位を使ってスリングを、抜き取る場合もあります。この場合は、4点吊りのはずし方を参照して下さい。

● 頭部サポートなしの使用方法

車椅子上でのかけ方

①



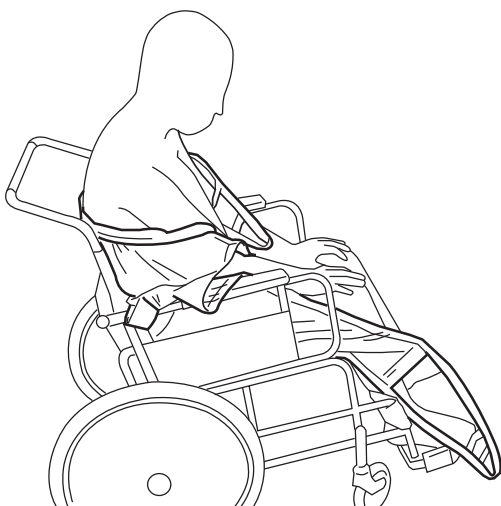
警告 尾骨の先端まで深く被われていないと、吊り上げた時に圧迫や落下の原因になります。

注意 ・前傾姿勢をとるときは、対象者が前に倒れないようにしっかり支えてください。
・スリングの中央と対象者の脊柱の位置がずれると吊り上げたときに、身体が傾きます。

対象者を前傾させて、スリングのセンターテープと対象者の脊柱の位置を合わせ、センターテープの下端が座面にあたる所（尾骨の先端）まで深く入れます。

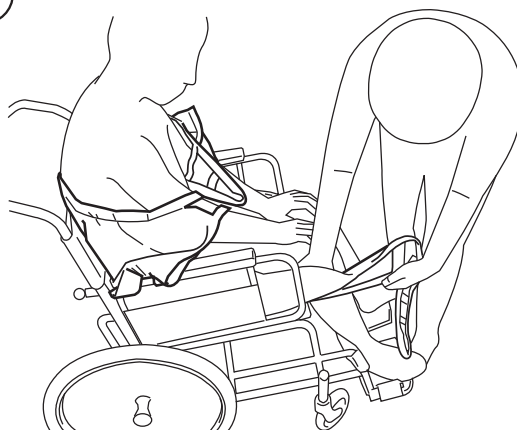
※センターテープ下端にフィンガーポケットがついていますので、ポケットに中指を入れると作業がしやすくなります。

②



左右のスリングの脚部を、大腿部に沿わせて、それぞれ前に出します。

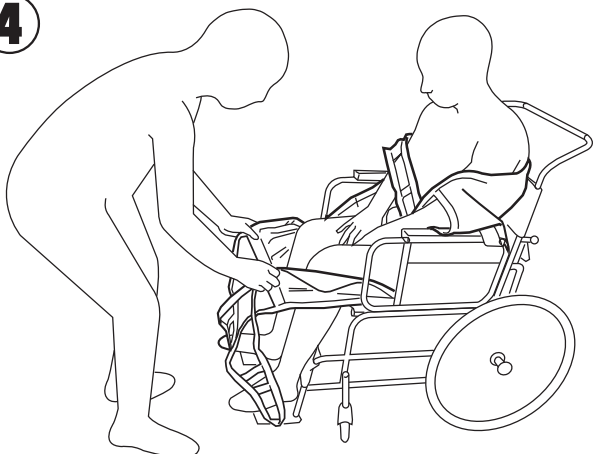
③



注意 大転子部を十分に覆ってください。大転子部が十分に覆われていないと、吊り上げた時、圧迫したり、落下してケガをする恐れがあります。

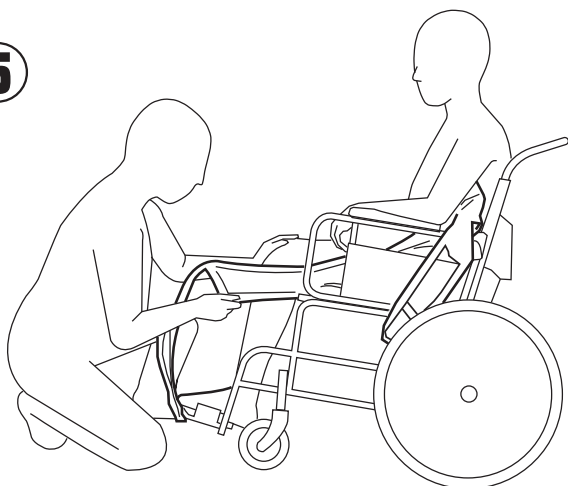
図のように左手でスリング脚部の下側の縁を持ち、右手をスリングと大転子部の間に手掌を身体に当てて挿入します。左手で縁を軽く引きながら、右手は、スリングが大転子部をしっかり覆うように、スリング下側の縁を座面に沿わせながら、手掌を大腿側面に当てて前方に滑らせます。反対側も同様に行います。

④



左右の長さが同じになっている事を、確認します。

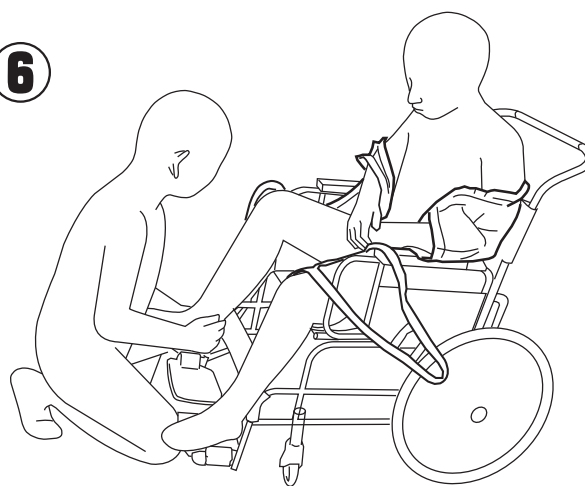
5



注意 スリングの長さが左右違うと吊り上げたときに身体が傾きます。

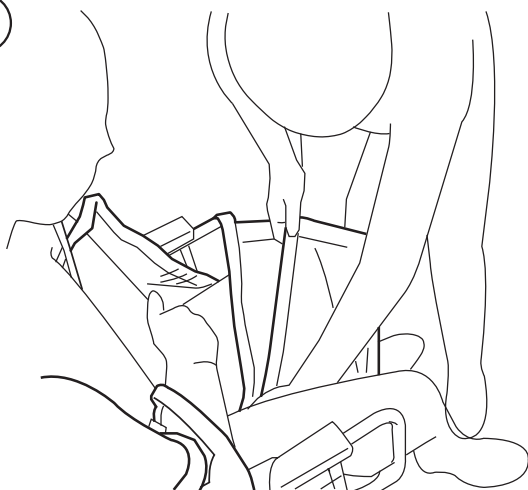
左右の長さに違いがある場合、例えば左側が短い場合は、介助者は対象者の右膝に手を当てて、前方へのずれを止めて、左の大腿支持部の前端で下側の縁をもって引き出します。左右の長さが同じになるまで、少しずつ調整します。

6



対象者の大腿部を浮かせて、左右のスリング脚部をそれぞれ大腿の下に通します。対象者が大腿部を浮かせることが出来ない場合には、介助者は、片膝を立て、対象者の足を介助者の大腿の上ののせると、大腿部と車椅子シートとの間に隙間が出来ますので、スリングの装着が容易になります。

7



注意 スリングの長さが左右違うと吊り上げたときに身体が傾きます。

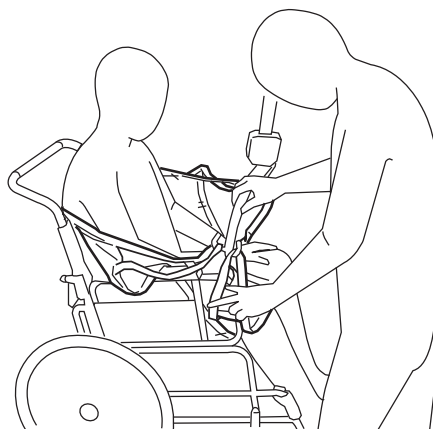
右手で脚ストラップの股間に近い側を持ち、左手をスリングの大腿支持部の股間に近い側の縁に沿って大腿部の下に入れます。右手でスリングの脚部が股間に近くなるように斜め上方へ引き上げます。同時に左手をスリングの縁に沿わせながら抜きます。反対側も同様にし、スリング脚部にしわを寄せないようにしながら、左右の長さが同じになるようにします。

8

脚ストラップを、交差させます。



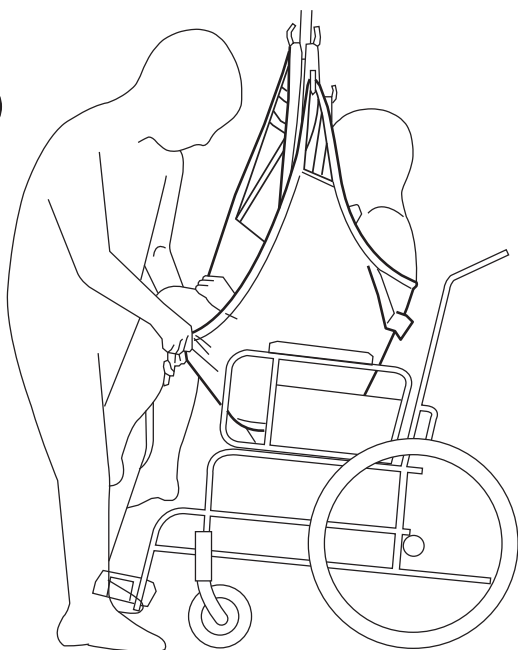
9



注意 ストラップがねじれていると、吊り上げた時に対象者の身体が傾きます。

リフトのフックにストラップを、ねじれないようにつまめます。

10

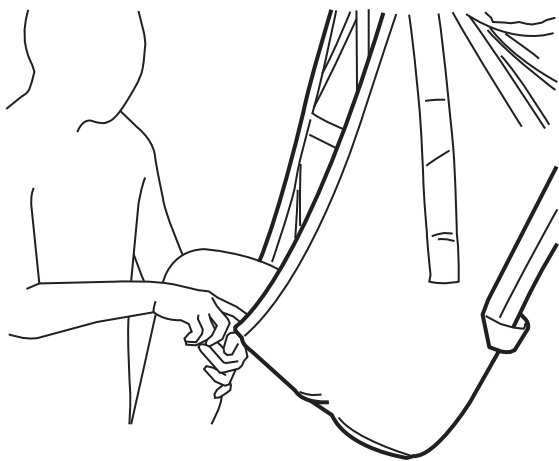


警告 ストラップがしっかりかかっていない状態で吊り上げると、対象者が落下し、危険です。

ストラップが、しっかりかかっていることを確認して、吊り上げていきます。

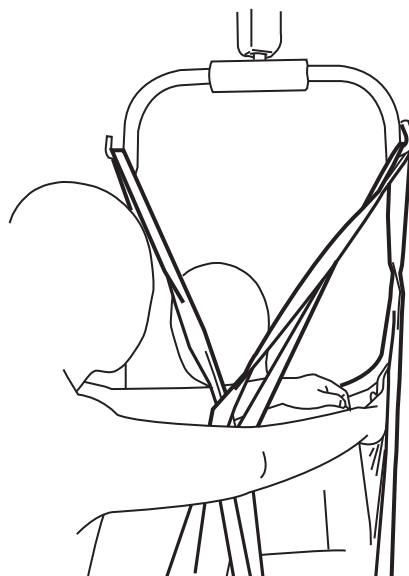
股間への食い込みを防止する為、脚ストラップを軽く対象者の足の方へ引いておきます。臀部が完全に車椅子シートから離れる直前で、一旦止めて、大腿部を軽くスリングから浮かせて、スリング脚部を膝方向に引き出し大腿支持部のかかり位置や、しわを修正します。ストラップが、しっかりかかっていることを確認して、吊り上げていきます。

参 考



大腿部の縁による圧迫を取る。

介助者は、片手で対象者の下腿部を支えて、反対側の手の人差し指を大腿部とスリングの間に挿入して、そのままスリングの縁に沿って滑らせ部分的な圧迫を取り除きます。反対側も同様にします。



注意 上肢は引っ張らないでください。

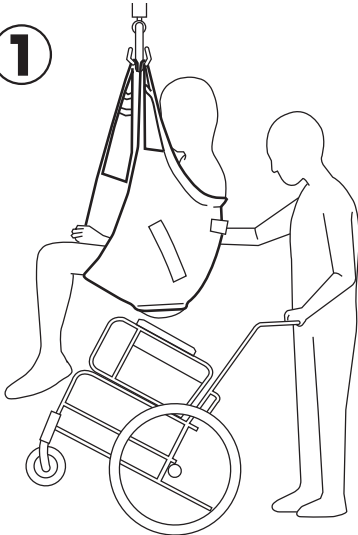
肩の圧迫を取る。

片手で対象者の肩を支え、もう片方の手でスリングを軽く後方に押しします。反対側も同様にします。

車椅子への着座方法

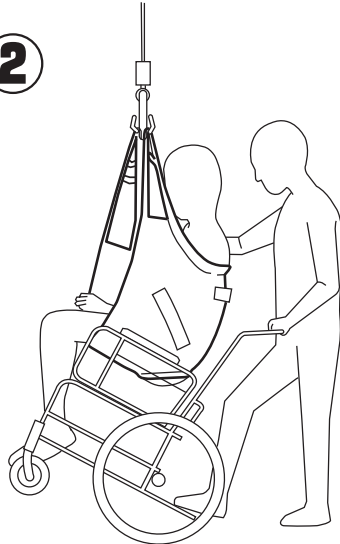
●キャスターアップでの降ろし方（車椅子の前輪を上げて降ろす）

①



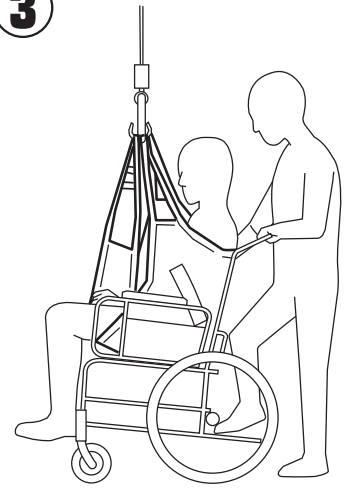
車椅子のフットプレートを跳ね上げるか、レッグサポートを外します。車椅子のブレーキはかけずに、キャスターアップをした状態で、対象者の臀部の真下に、車椅子を位置します。

②



対象者の臀部を背シートの下から1/3程度の高さのところまで背シートに接触させて、そのまま背シートに沿わせながら、下降してくる臀部を、車椅子で受ける要領で降ろします。降ろしていく途中で、その動きに合わせて、車椅子のティッピングバーを片足で踏み、車椅子を後方に下げながら、ゆっくりと車椅子の前輪を降ろします。

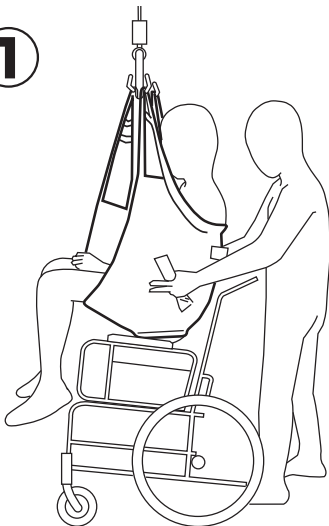
③



確実に操作をすることによって、車椅子に深く着座させることができます。

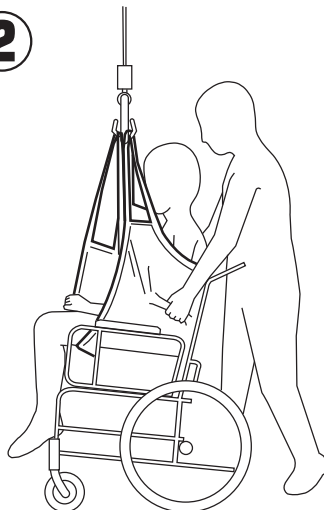
●後方介助での降ろし方

①



対象者を、あらかじめ、車椅子の座面より少し高い位置に、臀部がくるところまで、降ろしておきます。背シートに背中が、触れる位置に車椅子を置きブレーキをかけます。

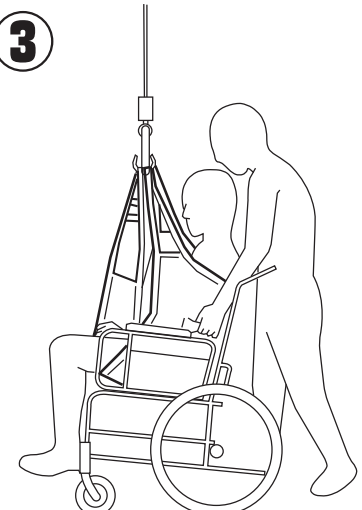
②



着座する少し前にスリングの介助用ベルトを引いて、臀部を背シートに接触させて、そのまま背シートに沿わせながら降ろします。

床走行リフトの場合は、ストラップに、わずかにゆりみが出た時点で、一旦下降を止めて、車椅子のブレーキをはずします。車椅子を後方に、引きながら、さらにアームを下げます。

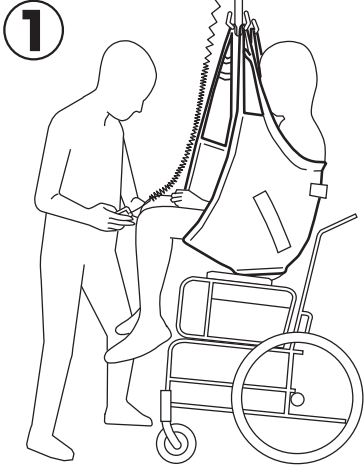
③



確実に操作をすることによって、車椅子に深く着座させることができます。

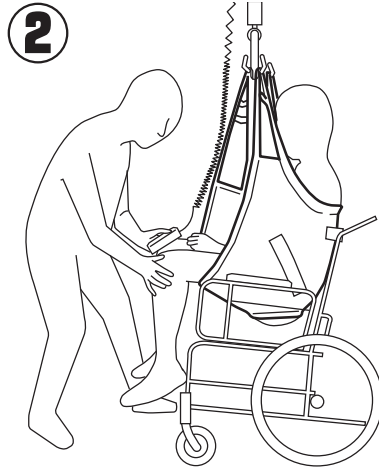
車椅子への着座方法

●前方介助での降ろし方

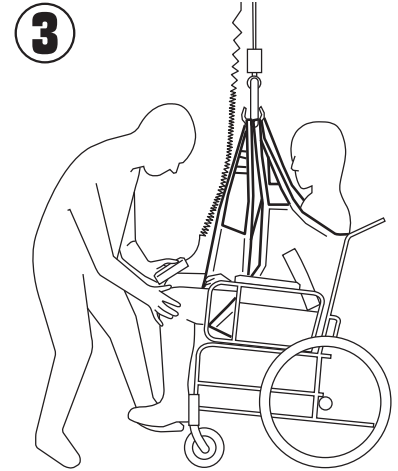


対象者を、あらかじめ、車椅子の座面より少し高い位置に、臀部がくるところまで、降ろしておきます。車椅子のブレーキはかけた状態で、対象者の臀部の真下に、車椅子を位置します。

⚠️ 注意 対象者の膝や大腿に問題がある場合は、別の方法で行なってください。

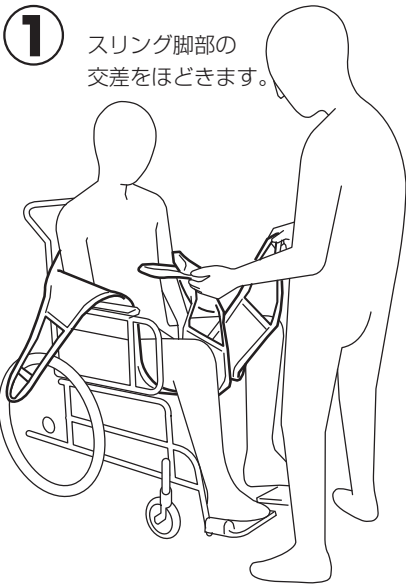


対象者の膝を軽く押しながら、臀部を背シートに接触させて、そのまま背シートに沿わせながら、降ろします。

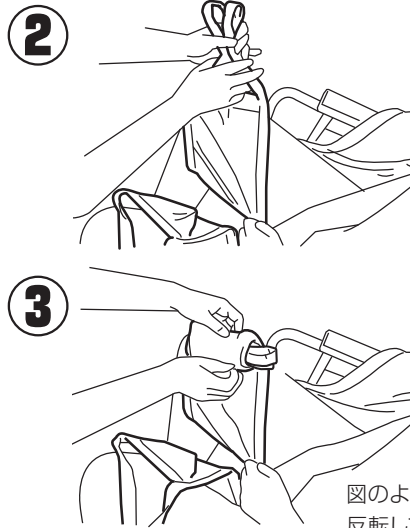


⚠️ 警告 床走行リフトの場合、介助者は、アームの下に入り込まないでください。確実に操作する事によって、車椅子に深く着座させることが出来ます。

車椅子上での外し方

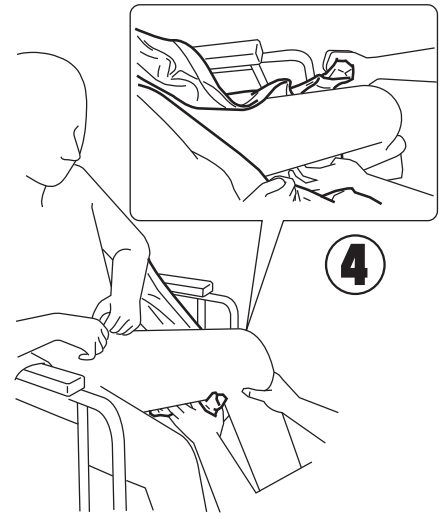


1 スリング脚部の交差をほどきます。



2

3



4

図のようにスリングのストラップをまとめ、大腿支持部を反転して巻き、大腿部を軽く浮かせ、大腿部の下にいきます。反対側の手で引き出します。反対側も同様に行います。



5

スリングの大腿支持部を、左右それぞれに、体側から引き出し、アームレストの外に、垂らします。



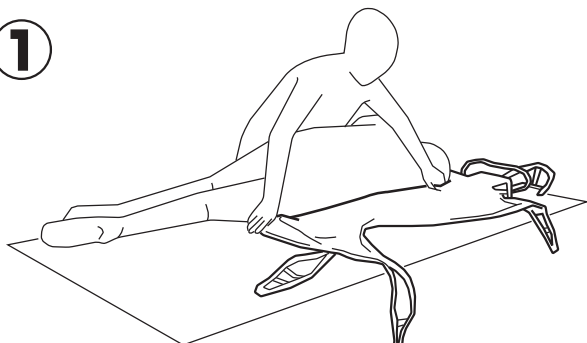
6

対象者を前傾させ、背中からスリングを抜き取ります。

●シートタイプの使用方法

掛け方

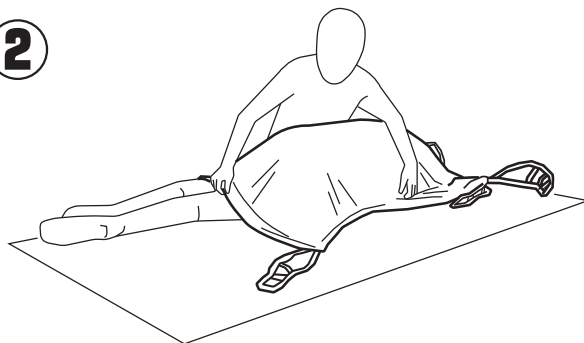
①



⚠ 注意 対象者を仰臥位に戻すまで、対象者が倒れないように、介助者の身体や上肢等で支えて作業を行なってください。

スリングを外側（介助用ベルトがついている側）が内側になるように二つ折りにして、対象者の横に準備します。対象者を介助者側へ、寝返らせ側臥位にします。

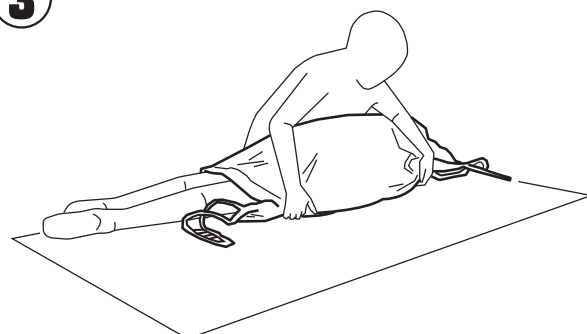
②



⚠ 注意 スリングの中央と対象者の脊柱の位置がずれると吊り上げた時に、身体が傾きます。

スリングの下端を膝裏の位置に合わせ、脊柱とスリングの中央が一致するように背中にかけます。

③



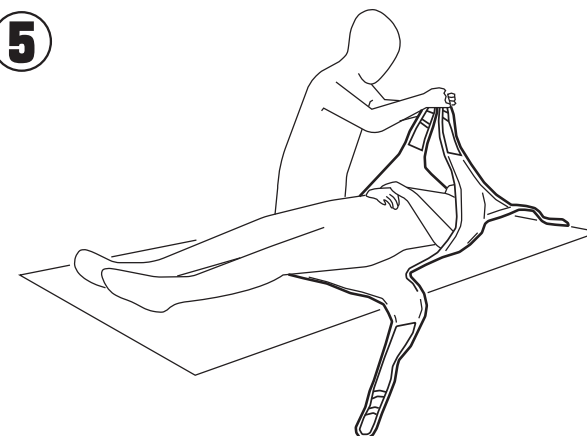
脊柱とスリングの中央を合わせたまま、ストラップとスリングの残りの部分を身体の下に入れます。

④



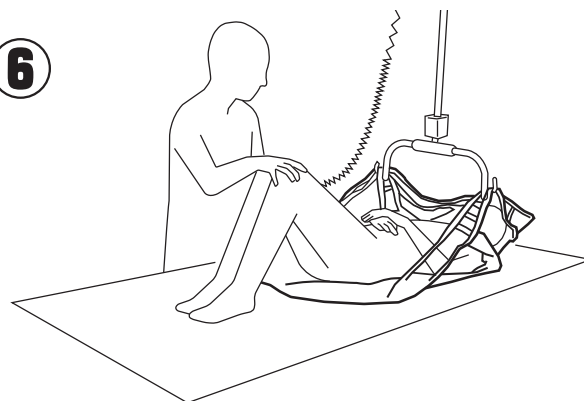
仰臥位に戻し、臀部を傾けて少し浮かせ、先ほど入れたスリングを引き出します。肩部分も同様にします。

⑤



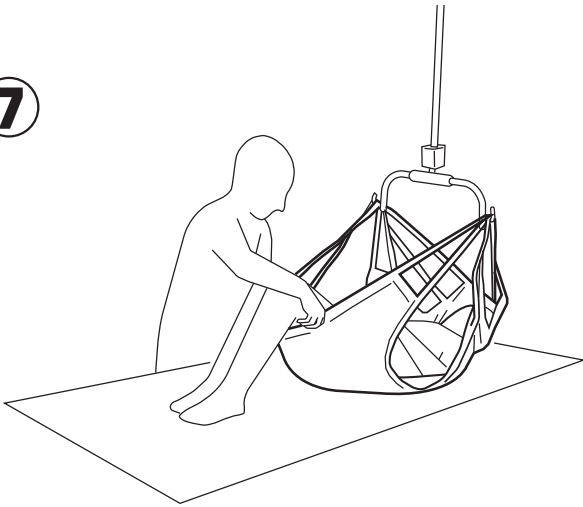
体幹ストラップの左右を合わせ、身体がスリングの中央にあることを確認します。ずれている場合は修正します。脚部も同じようにして、確認します。

⑥



ストラップを全てリフトのフックにかけ、両膝を立てた状態で吊り上げます。

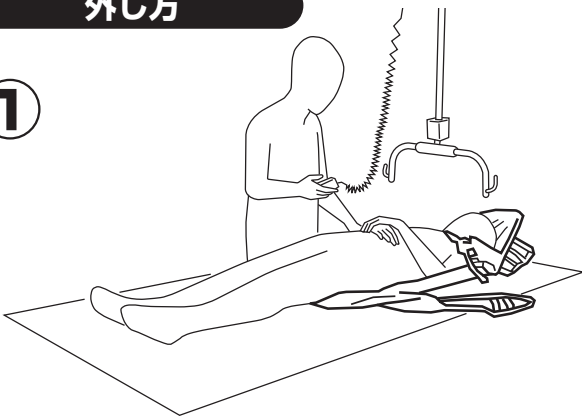
7



頭が少し持ち上がったところで一度とめて、スリングの下端が膝裏の位置に合っている事を確認して、適切な高さに吊り上げます。

外し方

1



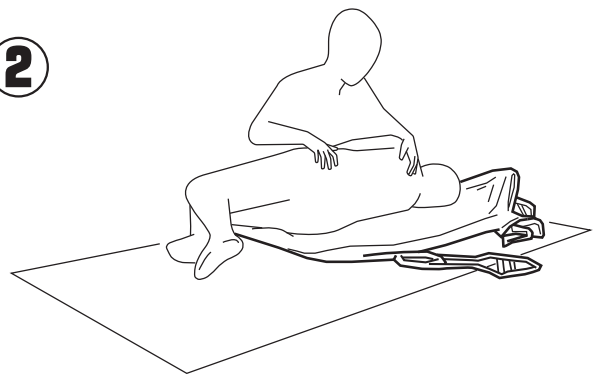
警告 対象者がしっかりと着地し、スリングに体重がかかっていないことを確認してから、ストラップをはずしてください。

注意

- ・ストラップをはずす時に、対象者にハンガーを当てないようにしてください。
- ・ハンガーを遠ざける時に、対象者に当てないようにしてください。

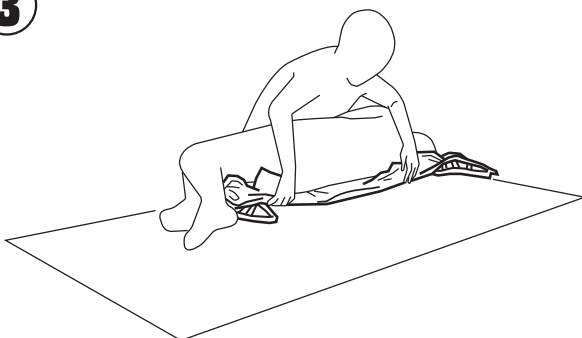
ストラップをフックからすべてはずし、ハンガーを遠ざけます。

2



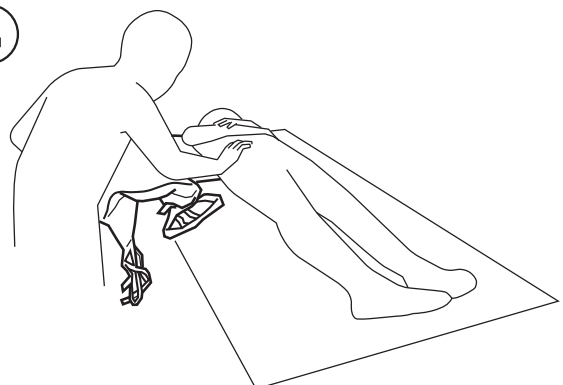
対象者を介助者側へ、寝返らせて側臥位にします。

3



図のように、ストラップを内側にいれて、スリングを巻いて、身体の下に入れます。

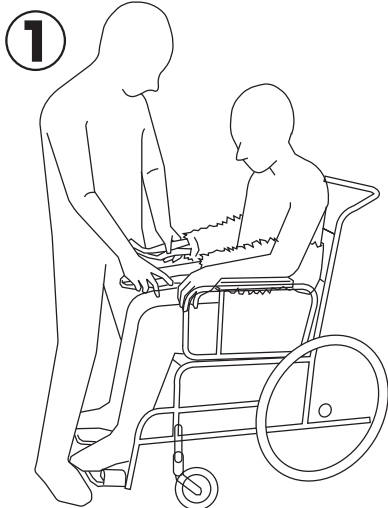
4



対象者を仰臥位に戻し、肩を少し浮かせてスリングを抜き取ります。臀部も同様にします。

●2本ベルトタイプの使用方法

かけ方



⚠ 注意 体幹ベルトスリングを、腋窩（脇）を圧迫する位置に装着しないでください。

対象者を前傾させて、体幹ベルトスリングの中央を対象者の脊柱の位置に合わせ、ベルトの両端を、左右の腋窩（脇）の下方で体幹の前に出します。体幹ベルトスリングは、胸郭部に装着してください。

体幹ストラップの左右の長さを合わせて、体幹ベルトスリングが身体の中央に装着されていることを、確認します。

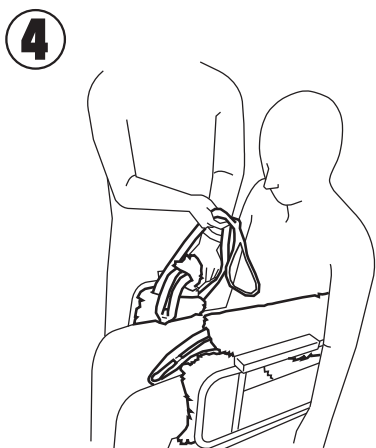


脚ベルトスリングの中央を股の間に入れます。対象者が大腿部を浮かす事が出来ない場合には、介助者は、片膝を立て、対象者の足を介助者の大腿の上ののせます。大腿部と車椅子シートとの間に隙間が出来ます。脚ベルトスリングを、対象者の大腿部の下を通し外側に出します。スリングの前端が膝窩部（膝裏）にあたらないように奥に入れます。反対側も同じ作業をします。

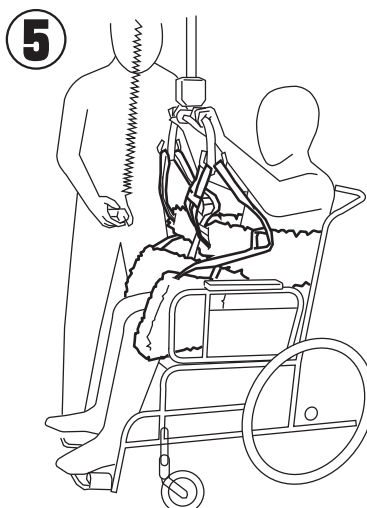
脚ストラップの左右の長さが同じになっている事を、確認します。



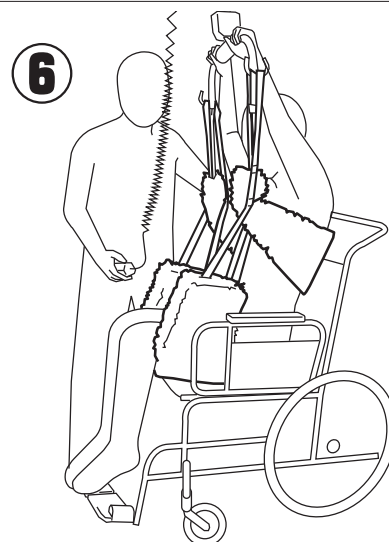
体幹ベルトのボアの先端部分を図のように持ちます。



体幹ベルトを脚ベルトのストラップの外から内側に通します。
ボア部分までしっかり入れます。
反対側も同様にします。



リフトのフックに、ストラップを、ねじれないようにかけます。
吊り上げる時、可能であれば対象者に、リフトのハンガーを持ってもらいます。



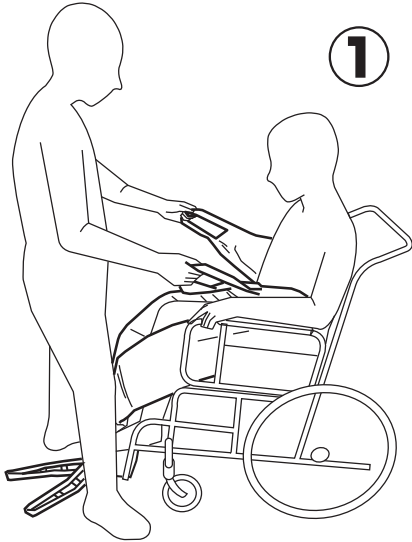
ストラップがしっかりとかかっていることを確認して、吊り上げていきます。

外し方

はずす時は、かける時と逆の手順で行ってください。

● トイレ用の使用方法

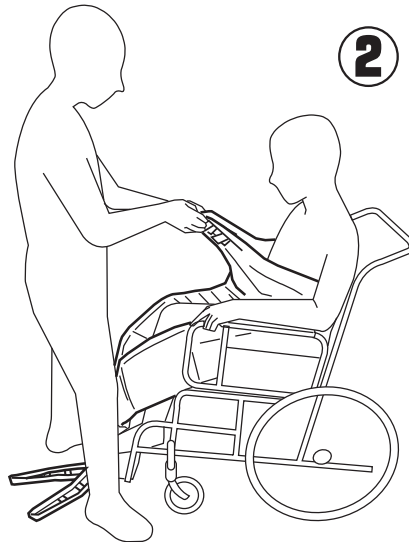
かけ方



①

! **注意** スリングの上端で、腋窩部（脇）を圧迫する位置には、装着しないでください。

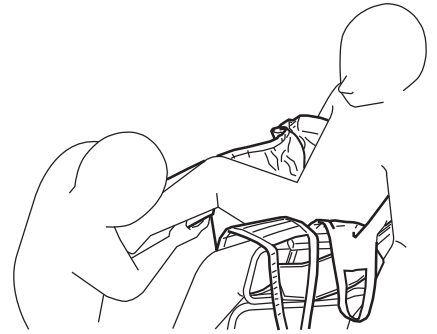
対象者を前傾させて、スリングの中央を対象者の脊柱の位置に合わせ、スリングの両端を、左右の腋窩（脇）の下方で、体幹の前に出します。スリングは胸郭部に装着してください。左右の大腿支持部を、体側に沿わせて、それぞれ前へ出します。



②

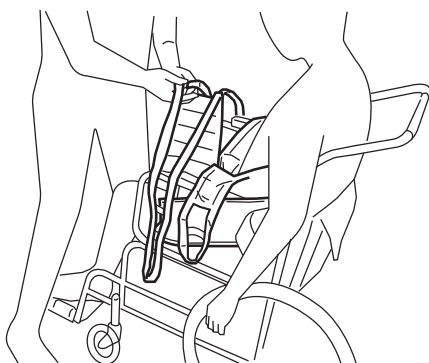
体幹ストラップの左右の長さを合わせて、スリングが身体中央に装着されている事を、確認します。

③



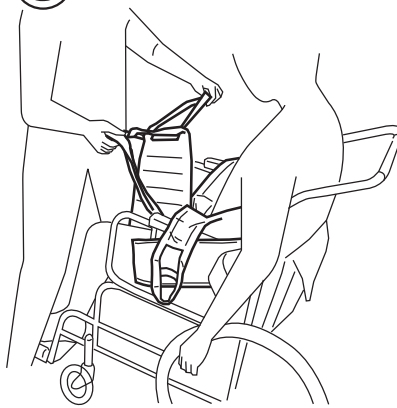
左右それぞれ大腿部の下を通します。対象者が大腿部を浮かせる事が出来ない場合には、介助者が片膝を立て、対象者の足を介助者の大腿の上に乗せます。対象者の大腿部と車椅子シートとの間に隙間が出来ます。大腿部の下にスリングの大腿支持部を通す作業が容易になります。

④



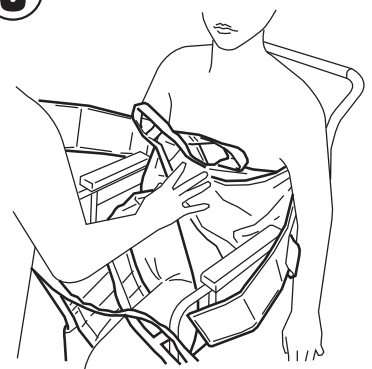
スリングの長さが左右同じになっている事を確認します。

⑤



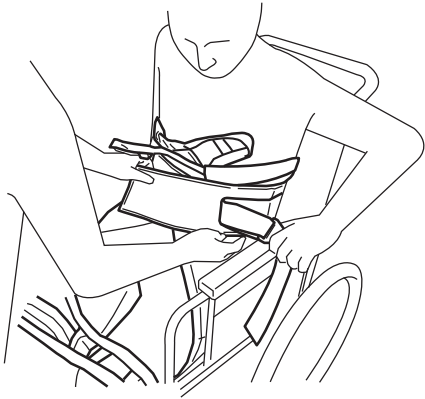
脚ストラップを交差させます。

⑥



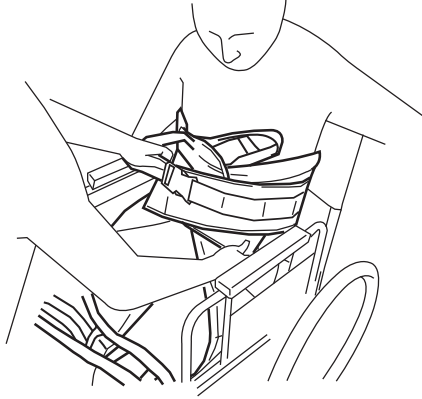
スリングの体幹部分を、着物を着せるように打ち合わせます。

7



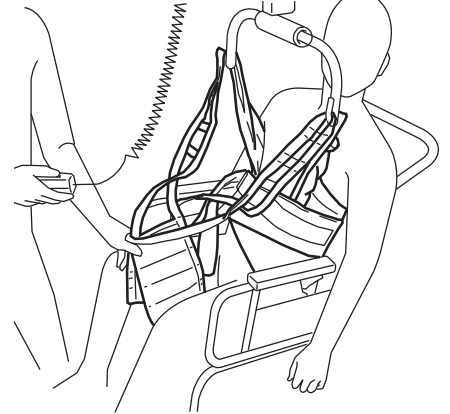
そのままの状態、体幹補助ベルトを重ね合わせて、しっかりと装着します。バックル付きベルトも同じように重ね合わせ、バックルをはめます。

8



片方の手でバックルのベルトを持ち、もう片方の手で、反対側の体幹補助ベルトを持ち、左右に引っ張ってしっかりと締めます。

9



⚠ 注意 体幹ストラップをかける時、左ストラップは左、右ストラップは右フックにかけてください。

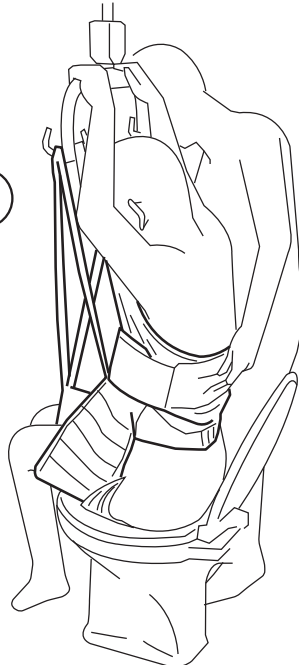
ホイストのフックにストラップを、ねじれないようにかけます。ストラップがしっかりとかかっていることを確認して、吊り上げます。

10



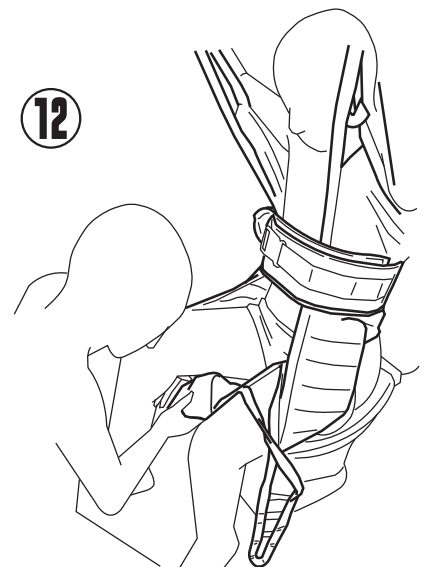
便器への着座の直前で、パンツをスリング大腿支持部ぎりぎりまで、下げます。

11



便器の真上で、介助ベルトを軽く後方に引いて、上体を直立位にして、静かに便座に下ろします。

12



⚠ 警告 便器から、吊り上げる時は、対象者の姿勢が後傾するので、壁やタンクで頭を打たないように充分注意をしてください。

着座したら、脚部側のストラップをはずします。ストラップをまとめて、スリングの大腿支持部を反転して、大腿部の下を通して外側に出します。パンツを充分に下げます。

4. お手入れ方法

洗濯、乾燥が簡単な事もNEBAスリングの特徴のひとつです。
時には直接肌に触れる事もございますので、洗濯して気持ち良く清潔にお使いください。

- ア) 中性洗剤をご使用のうえ、手洗いをお薦め致します。
漂白剤や、塩素系の消毒剤の使用は製品をいためますので、
さけてください。
- イ) 洗濯機で洗う場合、必ずネットに入れてください。
家庭用の洗濯機の場合は、弱い水流にて3分間程洗ってください。
すすぎも同じです。
- ウ) ネットに入れたまま脱水してください。
- エ) 乾燥は陰干しをお薦めいたします。乾燥機の使用は避けてください。
- オ) アイロンは使用しないでください。

注意

頭部サポートあり（4点吊）をご使用の方は、
ステーを取り外して洗濯してください。
乾燥後、ご使用の際には、必ずステーを
装着してください。

5. 廃棄方法

廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがい廃棄処分してください。

6. 保証書

本製品は、当社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一商品開封時に不良がございましたら保証規程に基づき無料で修理、交換致します。その際は現品に本保証書を添えて弊社またはご購入の販売店までご提出ください。

※商品の性質上、ご使用後の返品はお受け致しかねます。あらかじめご了承ください。

※この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無料で修理、交換をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈保証規程〉

1. 保証の対象となる部分はこの商品一式です。ただし、各部の消耗・劣化による故障、損傷は除きます。
2. 保証期間はご購入日から1年間です。保証期間内に発生した故障については、無料で交換致します。
無料での交換には、保証書の提出を要します。
3. 但し、次の場合には保証期間中でも有料になります。
 - (1) 保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書の購入日や販売店名の記載がない場合。
 - (3) 取扱説明書に記載されていない誤ったご使用方法、あるいは修理・改造による故障・損傷
 - (4) 火災、地震等の天災地変による故障・損傷
 - (5) ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷
4. ご相談窓口は、弊社営業所またはご購入の販売店にて承ります。
5. その他
 - (1) 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - (2) 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

品名／種類		NEBAスリング													
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (4点吊)</td> <td>(中 ・ 骨盤幅狭)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (6点吊)</td> <td>(標準 ・ メッシュ)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 頭部サポートなし</td> <td>(大 ・ 中 ・ 小 ・ 極小)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> シートタイプ 頭部サポート (あり ・ なし)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> トイレ用バックルタイプ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 2本ベルトタイプ</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (4点吊)	(中 ・ 骨盤幅狭)	<input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (6点吊)	(標準 ・ メッシュ)	<input type="checkbox"/> 頭部サポートなし	(大 ・ 中 ・ 小 ・ 極小)	<input type="checkbox"/> シートタイプ 頭部サポート (あり ・ なし)		<input type="checkbox"/> トイレ用バックルタイプ		<input type="checkbox"/> 2本ベルトタイプ	
<input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (4点吊)	(中 ・ 骨盤幅狭)														
<input type="checkbox"/> 頭部サポートあり (6点吊)	(標準 ・ メッシュ)														
<input type="checkbox"/> 頭部サポートなし	(大 ・ 中 ・ 小 ・ 極小)														
<input type="checkbox"/> シートタイプ 頭部サポート (あり ・ なし)															
<input type="checkbox"/> トイレ用バックルタイプ															
<input type="checkbox"/> 2本ベルトタイプ															
お客様	ご住所														
	お名前														
ご購入年月日		年	月												
		日	保証期間：購入日より1年												
販売店	店名														
	住所														

● 発売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本 社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1
TEL 072 (875) 8008 FAX 072 (875) 8010

<https://www.p-supply.co.jp/>

販売店

※取扱説明書の著作権はパシフィックサプライ株式会社に帰属しており、許可なく取扱説明書の全て、または一部を複製することはお断りいたします。